



# 町民文化祭 健康を守る大会

町民文化祭と健康を守る大会が11月3日から5日までの3日間、文化会館を会場に開かれました。文化祭では、絵画や書道、手工芸など作品展示のほか、3日

に南米ペルーの民族楽器を使ったコンサート、そして最終日の5日には舞踊、民謡、カラオケなどの芸能発表などが行われました。また、健康を守る大会では、健康相談などのほか、4日にはフリーアナウンサー豊原ミツ子さんによる「やるっきゃない！わたしの介護体験から」と題した講演が行われ、盛り沢山な内容に、会場は連日大勢の人で賑わいを見せていました。



## 文芸

### 俳句

- 屏風浦荒海の風秋の風 佐保 哲一  
 雛僧の托鉢動行秋の風 渡部 和秋  
 法師蟬子の忌が来れば鳴き始む 勝又 和徳  
 猫視く破れ障子や秋の風 戸村 静華  
 ログハウス前も後も法師蟬 斎藤 正吾  
 細波や秋風渡る尾瀬ヶ沼 福田 晴一  
 水澄むや琅玕溶かす五色沼 今関 茂生  
 方丈の留守居の猫や法師蟬 福田 幸子  
 病窓の残月淡し秋の風 小林 順子  
 沖暮れて九十九里浜秋の風 渡部 静子  
 さんま焼く醤油は千葉の匂ひかな 土屋 栗水  
 散りぎわの命燃やすや紅葉して 藤代 ゆう  
 帰港船入れば群翔つ冬かもめ 玉虫たけし  
 信州路村静もりて柿すだれ 若梅あやめ  
 冬鷗夕日を胸に溜めて寝る (選者) 山口 一秋

### 短歌

- 南天の青き房実の赤き実と色移り  
 つつ秋は深みぬ 萩原 信一  
 虫垂炎切らずすみたり飲み薬時間  
 守りて三日続けぬ 鈴木 やす  
 緑日で求めし柚子が三つなり刺に  
 守られ色づき初みぬ 押尾 輝子  
 獅子頭かぶるや青年きびきびと風  
 の祭りを舞ひ始めたり 秋葉 悦子  
 台風に倒れしコスモス起き上り涼  
 風わたる烟に咲き満つ 秋葉 とく  
 貰ひ手の無きまま育ちゆく仔犬朝  
 戸あくれば我に飛びつく 吉岡 信子  
 訪ひゆけば住み心地良しと唄笑み  
 老人ホームの日常語る 佐瀬 初音  
 上高地の澄める大気にとりかふと  
 その紫の色の深しも 池田 春江  
 名月と言へどもひかりはさびしか  
 り踏みゆくわれの影をうつして 永藤 滋  
 笛太鼓みこしもむ人囲む人熱気溢  
 るる駅前広場 斎藤 秀男  
 車椅子に乗りて通りし病廊を癒え  
 たるけふは杖つき歩む 土屋 栗水  
 吾が友の鈴木南知さん急に逝くあ  
 またの才華抱きしままに (選者) 斎藤つね子